

視聴覚教育

NO.300

発行日

16.2.5

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

存在感のある

視聴覚ライブラリー運営を

視聴覚ライブラリー副所長 鈴木省吾

今年の五月で、岡崎市視聴覚ライブラリーは五十周年を迎えます。この記念すべき年に、月報「視聴覚教育」も、記念すべき第三百号を迎えることができ、大変意義深いものを感じます。

視聴覚教育機器や教材の貸し出し、自作視聴覚教材の制作、広報や研修活動、映像データの蓄積や配信など、視聴覚ライブラリーは岡崎市の視聴覚・情報教育の核として、ますます大きな役割を求められています。その期待に沿うよう職員一同、市民の皆様に一層の努力をお約束したいと思えます。

とは言え、厳しい財政事情は、教材・機材の整備充実に影響がないわけではありません。いかにお金をかけずに、視聴覚教育活動の推進に取り組むかは、視聴覚ライブラリーの大きな課題となっています。そこで、今年度より新たに教材収集の手段として、「ふるさと岡崎メディアアコンクール」を開催いたしましたところ、学

視聴覚用語
ビデオキャプチャカード
アナログであるビデオ信号をデジタルデータに変換し、コンピュータで操作できるファイルとして保存できるようにするカード。
これを使うと、テレビ番組をハードディスクやその他メディアで保存をすることができます。

校現場の先生方をはじめ、多くの方の参加をいただきました。自作教材制作奨励のよい機会ともなりました。ありがとうございました。

また、機器の貸し出しだけでなく、それに対する学びの場の充実をと、本年一月より、毎月第二土曜日にノンリニア編集機を活用した講習会を始めて、市民の自主映像制作における支援を可能にしました。現在のところ、設備面での制限はありますが、問い合わせや予約など好評を得ていることから、今後、編集設備の充実やサポート体制の強化を図り、視聴覚ライブラリーの存在感がいつそう高められるような、合理的な管理運営を図っていこうと考えています。

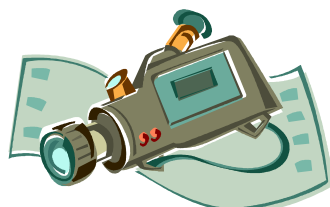
将来的には、地域の映像サークル等にも、視聴覚ライブラリーの保有するメディアを利用した映像制作活動の場の提供を図りながら、交流や連携を深め、自発的なメディアポランディアの組織化を進めたいと思います。市民、学校現場と一体となった視聴覚教育の展開が進むよう、存在感のある体制作りを、今後の運営の指針にしていきたいと考えています。

「視聴覚教育あれこれ」 ふるさと岡崎メディアアコンクール 結果発表！

市内から応募された3部門、応募総数94作品を対象に、慎重に審査を進め、次のとおり入賞作品を決定いたしました。おめでとございます。

社会教育および学校教育において、学習内容の多様化した今日、学習に対するきめ細かい教材の自作が求められています。また、郷土の自然や歴史、文化に関する学習コンテンツの必要性は日増しに高まっています。

本コンクールにおいては、その制作技法の優劣を問うのではなく、教材の必要性、利用方法までを審査対象といたしました。



【学校教育部門】 13 作品

最優秀賞

「日本一周できるかな」(算数) マルチ作品
藤川小学校 竹内 昭博

優秀賞

「かんちゃんのがっこうほつもん」(六中小の
小中交流) (生活) ビデオ作品
六ツ美中部小学校 菅 美津枝

「バドミントン」(ルールと技能のあらし) (保体)
マルチ作品
常磐中学校 中里 芳弘

優良賞

「はじめてのトイレそうじ」(特活) ビデオ作品
連尺小学校 小林佐知子

「岡崎の算額を解こう」(数学) マルチ作品

「森林のおくりもの」(国語) マルチ作品

入選(氏名・所属) 六ツ美中学校 伊藤 研治
小豆坂小学校 川本 祐二

島田 繁直(六北小) 津坂 秀子(奥殿小)
小林美恵子(藤川小) 杉山康子(竜美丘小)
梶田 章浩(羽根小) 浅岡 径子(美川中)

関谷 知行(秦梨小)
【生涯学習部門】4作品

最優秀賞
「もみじ探訪」(一般) ビデオ作品
岡崎映像サークル 蜂須賀正夫

優秀賞
「伊那路の旅」(一般) ビデオ作品
岡崎市小丸町 峰沢 幸広

優良賞
「さよなら昔の連尺小学校」(一般)
ビデオ作品 連尺小学校 代表 羽根淵一夫

入選
峰沢 幸広(小丸町)

【ショートコンテンツ部門】7作品

優秀賞
「慣性の法則」(理科) ビデオ作品
六ツ美中学校 津田 将宏

優良賞
「たつみがおか たんけんマップ」(社会)
マルチ作品 竜美丘小学校 杉山 康子

入選(氏名・所属)
三浦 祐昌(大門小)
星野 雄太(六中小)
林 恵理子(三島小)
増野 隆(竜谷小)
鈴木 章友(大樹寺小)

なお、表彰式は2月28日(土) 10時より、福祉会館6階大ホールで行います。(下記ライブラリー日より参照)



「実践報告」

目的を持って情報を活用する

岡崎市内東海中学校 岩本 隆幸

二年生の技術家庭科の「情報基礎」の授業で「自分・友達・学級・部活」からテーマを一つ選択し、その紹介の文をMSワードを利用して作成した。基礎となる操作技能は、目的のために何が必要かを生徒自身が捨選択し、自ら調べながら活用することを期待した。

初めはテキストを並べているだけであった生徒たちは、友達の記事を参考にし、ワードアートやクリップアートなどの機能を利用し、表現豊かに工夫を始めた。また、デジタルカメラやスキャナを用いて、写真などの画像の取り込みにも挑戦し始めた。周辺機器の利便さを知り、楽しみながら作品づくりを進めた。多くの機能を使用し、おもしろく派手に飾られた画面ができる。今度は作品としての見やすさを追究し、画面全体の色合い、配置などデザインが洗練されていった。コンピュータに対する好奇心と関心のあるテーマを選択したことで、学習意欲が高まり、知識や技能の習得を早めた。



普段から、ものづくりを不得手とし技術分野の授業が苦手だという生徒も、授業が楽しいと感想に述べていた。今後コンピュータとものづくりをより連携させた授業にも積極的に取り組んでいきたいと考えている。

ライブラリーだよ

ふるさと岡崎メディアコンクール表彰式・作品発表会の開催について

1 日時 平成16年2月28日(土) 10時～11時30分

2 場所 福祉会館 大ホール(6階)

3 内容 「表彰式」

はじめのことは
コンクール結果発表および表彰
教育委員会教育長あいさつ
審査講評
おわりのことは

「作品発表会」
最優秀作品発表
優秀作品発表



最優秀賞、優秀賞、優良賞にはそれぞれ賞状と賞金と表彰盾を、入選には賞状と賞品をもつて顕彰いたします。

月報「視聴覚教育」3百号達成!
月報「視聴覚教育」は昭和49年に更紙・和文タイプ印刷の一号が発行されてから30年の時を経て、紙面の大きさ、印刷方式等、形式も少しずつ変化してきました。しかし、常に視聴覚メディアの日進月歩の発達を受け、その最先端の活用を紹介してきました。また、各種研究会や各学校、社会教育団体の実践報告など、多くの情報を提供してきました。

今後、最新の情報をわかりやすくお伝えすることを心がけて、内容の充実に努めます。

(学習情報部広報部会)